

第 41 期 決算公告

自 平成 28 年 9 月 1 日

至 平成 29 年 8 月 31 日

ACリアルエステイト株式会社

貸借対照表
(平成29年8月31日現在)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
【流動資産】	92,869	【流動負債】	677,973
現金及び預金	13,307	短期借入金	650,000
未収入金	2,878	未払金	7,708
預け金	56,000	前受金	14,057
前払費用	16,826	未払法人税等	1,165
未収消費税	6,648	その他	5,041
その他の	31		
貸倒引当金	△2,823	【固定負債】	176,577
		リース減損勘定	59,587
【固定資産】	428,288	長期預り保証金	72,853
(有形固定資産)	335,558	長期未払金	18,600
建物	43,289	資産除去債務	25,537
構築物	4,149		
什器備品	2,746	負債合計	854,551
土地	285,373		
		純資産の部	
(無形固定資産)	1,825	【株主資本】	△333,392
ソフトウェア	1,825	資本金	100,000
(投資その他の資産)	90,904	資本剰余金	4,398,241
敷金及び保証金	93,512	資本準備金	2,432,864
貸倒引当金	△2,607	その他資本剰余金	1,965,376
		利益剰余金	△4,831,634
		利益準備金	35,525
		その他利益剰余金	△4,867,159
		別途積立金	5,980,000
		繰越利益剰余金	△10,847,159
		純資産合計	△333,392
資産合計	521,158	負債及び純資産合計	521,158

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券……時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産……定率法。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	10～39年
什器備品	4～20年

②無形固定資産……定額法。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

③リース資産……所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年8月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金……債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。

(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益処理しております。

(5) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 当期純利益金額

当期純利益 19,531千円